

新規就農先輩の軌跡 No.70

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：チームしんすけ農場 井藤 真輔（いとう しんすけ） 農地：姫路市豊富町神谷 年齢：37歳</p>	<p>農地：露地 38a 施設：パイプハウス 18a 経営内容： 【施設】 トマト 13a 網干メロン 4a 姫路若菜 4a 【露地】 レタス 10a サツマイモ 10a ハクサイ 10a ピーマン・ナス 10a</p>
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>平成 8 年～平成 10 年 兵庫県立農業大学校 平成 10 年～平成 12 年 愛知県立農業大学校研究部 平成 12 年～平成 23 年 農業関係機関に勤務 平成 24 年 姫路市網干区の開発農園で農業研修 平成 25 年～ 就農</p>	<p>○良かった点 「子どもが大好きなおいしい野菜」を目指し、多くのチーム員（ボランティア）とともに、農業の面白さを感じてもらいながらの営農をしている。 良かった点は、農業をとおして、仲間が集まれる場を作ることができ、農業の素晴らしさを少しでも伝えることができたこと。 また、消費者から「こんなおいしいトマト初めて食べた」「ピーマン嫌いの子供が食べられるようになった」などの声を聞いたときは、農業をして良かったと思う。 ○苦労した点 農繁期における労働力の確保。雇用も検討中。</p>
農業を目指した動機	後輩へ贈る言葉
<p>成果が目に見えてわかる職業に就きたかった。農業は、自分の判断や決定が生育や収穫量にはっきりと現れ、適していると考えた。</p>	<p>農業は、一人ではできない。仲間や地域、関係機関、家族など多くの方に助けられてここまでやってこられた。早く軌道に乗せて、恩返しができるようにしたい。</p>